

患者の皆様へ

令和元年 11 月 18 日
糖尿病・代謝・内分泌内科

現在、千葉大学医学部附属病院 糖尿病・代謝・内分泌内科では、「エロビキシバット水和物投与症例における HbA1c および脂質改善効果の検討」を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では当院通院中および入院中の患者さんの診療情報などを利用して頂きます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名 「エロビキシバット水和物投与症例における HbA1c および脂質改善効果の検討」

2. 研究の意義・目的 「新しい慢性便秘症治療薬エロビキシバット水和物（グーフィス®）は、過去の報告で、グルカゴン様ペプチド-1（GLP-1）の値を上昇させる作用を持つとされており、糖尿病改善作用も期待されます。そこで当院通院および入院されている患者さんで、エロビキシバット水和物の投与歴がある方を対象として、投与前後の HbA1c および脂質の変化を評価することを目的とします。」

3. 研究の方法 「カルテの情報をもとに、エロビキシバット水和物を使用された方を抽出し、更に使用前後で糖尿病の指標である HbA1c が測定されている方を調べます。エロビキシバット水和物投与前と3ヶ月後の HbA1c および脂質値（LDL-コレステロール、HDL-コレステロール、中性脂肪、総コレステロールなど）の変化について、投与前後で比較します。また HbA1c と各脂質値との関連性についても検討を行います。」

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学大学院医学研究院内分泌代謝・血液・老年内科学の鍵のかかる棚で保管します。

5. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をします。また、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて
掲示を行っています。

研究実施機関 : 千葉大学医学部附属病院糖尿病・代謝・内分泌内科

本件のお問合せ先 : 医学部附属病院糖尿病・代謝・内分泌内科

医師 越坂理也

043（222）7171 内線728